



花と緑のまちづくり

我孫子市景観情報リーフレット 第3号

表紙 古利根沼

古利根沼は、もともと利根川の本流の一部でした。明治45年から大正9年（1912年～1920年）にかけて、利根川の流路変更が行われ、川の流れが直線化されたことにより、大きく湾曲していた部分が三日月形に取り残されて古利根沼となりました。沼の北側は、茨城県取手市の小堀（おほり）地区として現在に至っています。

沼の東側から沼を望めば、水面と斜面林が奥深く弧を描くように延びる様子が伺えます。古利根沼は我孫子のいろいろ八景の水八景に選ばれており、昔の利根川の面影を残す貴重な自然風景です。

まちなみ探訪③ 神奈川県大磯町

ストリートガーデンの風景

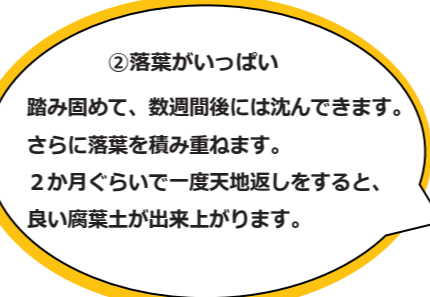
オープンガーデンのある大磯町の街並みを訪ねました。大磯はかつて元首相の吉田茂邸もあり、相模湾に面した温暖な街です。この街ではオープンガーデンが毎年開催されており、時折垣間見える緑豊かなガーデン風のお宅が魅力です。

オープンガーデンとは、ご自分で丹精込めたお庭を開放して市民の皆さんが観賞することができるイベントです。クローズの時期でしたが、9月に街並みを探訪しました。大磯ではお庭を開放する「オープンガーデン」、街路沿いにある「ストリートガーデン」、お店の「店さきガーデン」などに分かれて楽しむことができます。ストリートガーデンは、街を散歩しながらいつでも観賞できます。散策が楽しいこと間違いありません。

オープンガーデンに登録されたお宅以外にも、ガーデニングを楽しんでいる風景があります。花の寄せ植え、自然風の植え込み、ロックガーデン、あちらこちらで散歩が楽しめる街並みでした。4月～5月がオープンガーデンの時期です。少し足をのばして訪ねたら、きっとお宅の庭さきのガーデニングのアイデアが増えるかと思えます。



①木製堆肥ボックス
前面は板の落とし込みで、腐葉土を出しやすくしてあります。



②落葉がいっぱい
踏み固めて、数週間後には沈んできます。
さらに落葉を積み重ねます。
2か月くらいで一度天地返しをすると、
良い腐葉土が出来上がります。



積み込み作業風景です

エコ生活を始めよう

第3回 落葉で腐葉土づくり

我孫子2丁目にある大規模マンションのシティアは、「我孫子のいろいろ八景」の「まちなみ八景」にも選ばれた、緑が多く草花がきれいに植えられているマンションです。ここでは、住民がボランティアで、広い敷地から出る大量の落葉の大半を堆肥化したものを、敷地内の花壇の腐葉土として利用したり、樹林の根元に敷き込んだりしています。1m角のコンテナボックスに、清掃して集められた落葉のビニール袋をボックスに開け、発酵促進のため、土に米ぬか又は油粕と、発酵促進材を混ぜ合わせて踏み固め、上から十分な水を湿らせてつくっています。土は、「不要土を腐葉土に」とマンション内にポスターを掲示して、ゴミとしては処分しにくい植木鉢の土を、住人から集めて混ぜた園芸土です。ちょっとした工夫で我孫子市のゴミ減量化にも役立っているはずでしょう。初冬につくられた落葉堆肥は、次の年までには使い切っています。落葉も不要な園芸土も地球の資源です。皆さんも、落葉の堆肥化に挑戦してみませんか。（関）

INFORMATION



ハケの道を御存知ですか。
我孫子の台地を取り巻く斜面林の下の道を通称「ハケの道」といいます。市では、このハケの道の魅力化を図るため、近隣住民が中心になり組織した「ハケの道プロジェクト会議」と協働で、植栽活動を行っています。
どなたでもお気軽にご参加いただけますので、ご興味のある方はご連絡ください。

我孫子のいろいろ八景を楽しめるガイドと一緒に巡る、「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施しました。今年は4回実施し、各回ともに募集定員25人が埋まる盛況ぶりでした。当日参加者に配付したコースマップは、アビシルベ、アビスタ、あびこ市民プラザ、湖北地区公民館、市内の各行政サービスセンター、図書館で配布しています。市ホームページからダウンロードも可能ですので、是非ご覧ください。

あびバスルート周辺の景観スポットを紹介する、あびバス景観散策マップ「船戸・台田ルート編」「栄・並木・泉ルート編」「新木ルート編」を発行しています。
アビシルベ、アビスタ、湖北地区公民館、あびこ市民プラザ、市内の各近隣センター、行政サービスセンター、図書館、あびバス車内等で配布しています。市ホームページからダウンロードも可能ですので、是非ご覧ください。

【問合せ】都市計画課景観推進室 内線 574

このリーフレットは、身近なまちなみから我孫子の景観の向上を図っていくことを目的に、市内における景観に関する取組みやトピックスの紹介とともに、景観アドバイザーの監修のもと、ご自宅のガーデニングに取り入れていただける手法を紹介する内容となっています。

発行 我孫子市都市計画課景観推進室
〒270-1143 我孫子市我孫子1858
TEL 04-7185-1111 (内線 574)
発行日 平成28年1月日
協力 我孫子市景観アドバイザー 関 基治



創り出そう

みどりの多いまちなみ景観

沿道の足元を彩る

ストリートガーデン

■布佐平和台 柴田邸



柴田邸は、塀を設けていない開放的な外構で、色鮮やかな草花が沿道を彩っている。

の出来を相談したり、近所のお友達との情報交換を参考にしているようです。
堆肥については、市販のものだと合わないものがあるからと、いろいろな組み合わせを実験して、楽しみながら堆肥づくりに取り組んでいるとのことでした。
彩りあるオープン外構が、沿道を華やかに明るくしているだけでなく、人の目を集めることで結果的に防犯力を高めている柴田さんのお宅でした。

布佐平和台にある柴田さんのお宅は、色鮮やかな草花が沿道を彩っています。閉鎖的だからと10年前に垣根を取り払い、人が進入できないように植えたのがお庭づくりのきっかけのことです。お花を選ぶポイントとは、丈夫で、長持ちで、かわいいことだそうです。また、ホームセンターのガーデニング担当に今年

グラデーションが美しい

カラーリーフのガーデン

■布佐平和台 伊藤邸



多種多様なカラーリーフが並ぶ伊藤邸。レンガ塀の雰囲気と調和して、魅力的な沿道をついている。

ポイントにしていることは、カラーリーフや宿根草（冬期に地上部だけ枯死し、春に再び生長するもの）を使用すること、常緑樹と落葉樹を織り交ぜること、地面を見せないように植えること、常緑の背の低い樹木を数本植えることだそうです。また、お庭の中は人が通るところをタイルや飛び石でデザインすると印象が良くなるということです。
伊藤さんのこだわりと、道行く人に楽しんでもらいたい気持ちが表示されている魅力的な沿道空間でした。

布佐平和台にある伊藤さんのお宅は、低木のコンニャク・ブルーカーペットやシルバーの葉で紫色の花をしたツリジャーマンダーなど、様々なカラーリーフが美しいグラデーションを見せています。玄関や駐車スペースには、ハンギングバスケットが置かれ、華やかな印象を与えています。伊藤さんがお庭づくりの



シンプルな白で統一された鉢植えに、寄せ植えされた花々が並んでいる。



冬は季節感が感じられる白い花を中心に並べられている。



ハンギングバスケット。伊藤さんはハンギングバスケット教室の講師として活躍している。



様々なカラーリーフが沿道に彩りを与えている。

こころ温まるストリートガーデンの風景

柴田さんの

お庭は晩秋で一番花が少ない時季とおっしゃっていましたが、葉の色が綺麗で多くの品種のコリウスを中心にミニバラ、ガーデンシクラメンなどの寄せ植えの美しさ、楽しさが感じられるストリートガーデンです。駐車場の奥には、落葉樹の株立ちや水が流れるバードバスを兼ねた彫刻の水盤が垣間見られます。閉鎖的でない空間は街路の景観をより明るくしていることも感じました。



関 基治
我孫子市景観アドバイザー
グリーンワークス主宰
多くの緑化計画に携わる。

伊藤さんはハンギングバスケットの指導普及をなさっている方だけあって、多種類のカラーリーフ（彩の面白い植物品種群）の低木を配植し、その間には花が楽しめる一年草や宿根草を散りばめたアレンジです。伊藤さんのお話では、たとえば、春にはチューリップが低木の間から顔を出すデザインなど、その光景は想像しただけでも楽しそうですね。いろいろな種類が欲しくなる園芸趣味家にとっては、気分をくすぐるような魅力的なお庭でした。
おふた方とも夏の渇水には苦労されていて、長期の留守になかなかできなかったり、ときには朝晩の水やりの必要があるようです。でも、それらの賜物として美しい沿道がつくられています。植物の手入れをしていると、声を掛けられることが多いもので、話が弾み、ご近所のコミュニティがちょっと深まる、園芸力にはそんな「ちから」もあるようです。

植木鉢で街並みをワンポイントアップ！

門や玄関、パーキングなど街路に面した場所に数鉢の草花が飾ってあるだけで、気持ち安らぎますね。今号は、街を歩いて、素敵な雰囲気の花の飾りを取り上げ、植木鉢で飾るコンテナガーデンについて「基本のき」を考えてみました。

シンプルにまとめてみよう

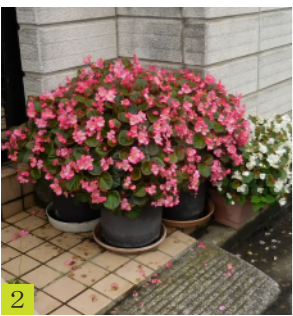
エントランス・門扉の場所は、多少「構え」がある場所です。シンプルにまとめると調和のバランスに失敗がありません。写真1のお宅のようにペチュニアのピンクでまとめると、全体が花に囲まれて大きな群植の美しさの特徴が生かされます。

鉢の形は、同じ形のもので揃えるのもひとつの方法です。いろいろな鉢のデザイン、素焼き鉢、木製鉢、デコレーションが施されたプラ鉢など種類と形、大きさも豊富で様々です。単品で気に入ったものを買っても、並べるとつり合いが取れないことがあります。まずは、同じ素材、形、色でまとめて並べるとまとめて見えるものです。

入口はシンプルに揃え、お庭に入るにしたがって、いろいろな趣味の鉢や草花を並べると雰囲気が出ます。写真2は、四季咲きペゴニア（センパフローレンス）が同じ鉢にまとめて植えられている好例です。



1



2



3



4

ワンポイントアイデア

ハンギングバスケットも楽しいですね。写真3は玄関の門扉に飾った事例です。季節に応じた草花や、お正月からクリスマスシーズンまでの行事をテーマにしたり、同じ色の花の変化をアレンジしたり、創作の題材は無数にあります。道を歩く人は「今度はどんなデコレーションかな」と想像しながら楽しんでいるのかもしれない。鉢の組み合わせと草花は同じ種類で、色の変化だけでまとめると効果的です。（写真4）

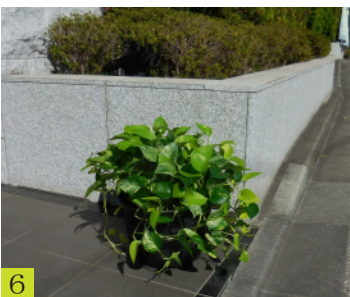
プラ鉢は、時々塗り替えると美しくなります。アクリル系塗料の吹き付けで一新します。プラ鉢をブラシで良く洗って乾燥させ、濃いめの色を選定することが無難です。黒、茶、濃緑などがお薦めです。花の色を引き立たせるコンテナとして、まずはそのあたりから工夫してみましよう。

日陰地のコンテナガーデン

街路面の日当たりは、場所によって様々ですが、日当たりの悪い場所でも工夫次第で美しく飾ることができます。シダ類、ハラン、ギボウシ、ソワブキなど葉の色の変化や斑入り品種を楽しむ植物は沢山あります。（写真5）



5



6

バックヤードも重要

街路に面した部分は、いつも良い状態で飾りたいものです。お庭の隅に、コンテナ用のバックヤードを設けて育てることも大事なことです。

植物に応じて日当たりや開花時期を考え、時々移動できるのもコンテナガーデンの魅力です。皆さんの園芸力をアップし、小さなガーデンデザインを楽しむことができます。個々のお宅のピンポイント鉢花の飾り付けが、ご近所の街路を連続した花々で繋ぎ、豊かな空間に変化していくことを期待して、コンテナストリートガーデンングを始めてみませんか。

熱帯植物の利用もアイデアです

我孫子市の夏は暑く、冬のわずかな寒期を除けば多くの亜熱帯性植物が屋外で利用できます。例えば、ランタナなど沖縄地方でしか露地で育たなかったものが、最近では温暖化で越冬して育っています。植物によっては、霜よけ程度で育つものもありますから、置き場所を工夫して、適材適所で美しい花や観葉植物にも挑戦してみてください。写真はポトスのコンテナです。冬は室内で管理します。